



「古屋まさお」とともに歩む

友雅会 ニュース

発行元：友雅会

〒405-0007
山梨県山梨市七日市場816-7
TEL 0553-23-6688
FAX 0553-22-3700

■編集責任者：古屋 雅夫

「謹賀新年」今年も友雅会
ニュースで市政情報を発信
をします。

12月定例
議会報告

少子高齢化への対応をふまえて、
学校教育、福祉の充実をめざす

「中期財政見通し」示される

山梨市議会議員 古屋まさお市政報告会



山梨市議会議員
古屋まさお

← 市政報告会に（内容は裏面に掲載）

（株）CCWとの和解成立、 図書館長への期待・著名人を

前・中村市長から引き継いだ新期参入会社（株）CCWへの対応について、さる11月1日の臨時議会で、（株）CCWとの和解金の補正予算1千万円が議決（賛成12、反対5）、和解金支払いでようやく解決した。

※ 経過は友雅会ニュース27号に掲載。

（株）CCW社が旧庁舎を退去する期日は、平成26年2月16日。また、心配されていた図書館建設のための補助金（林野庁）2億2千万円等は、和解が成立したことで、交付決定の見込みとなった。

新図書館は平成27年5月完成予定。議会では、新館長に「林 真理子」さんを依頼しては、との発言があり、市は「選択肢の一つとして検討をしたい。」と回答。

12月定例議会は、2日～20日までの19日間開催され、条例関係6件、予算関係8件が提案されました。

提出議案・条例関係では、①国民健康保険税の納付回数、現在7回から9回に増やし1期あたりの負担額を軽減する条例の一部改正②県事業「やまなし子育て応援カード」の対象者拡大に伴い1月1日から18歳未満のお子様、妊婦について、本市の「温水プール、温泉施設」利用料金を半額（割引）とする条例の一部改正（3人以上のいるご家庭のお子様は現行通り無料）③後期高齢者医療保険料コンビ二収納システムの構築と、地域密着型介護サービス給付費の増加に伴う補正予算——等。

12月議会では、上記の項目を含め補正予算5億4751万円を追加し、山梨市一般会計の総額予算183億1560万円余が全会一致で可決されました。

また、所信表明において、竹越市長は、次期（1月26日告示、2月2日投開票）市長選への立候補を表明し、「総合計画・元気創造プロジェクト」を更に推進する決意を述べました。

※ なお、内容は古屋まさおメモであることからの確表現、言葉足らずのところがありますがご容赦願います。

市政報告会を開催しました

さる、12月7日に友雅会（後援会）関係者等、市民のみなさんを集め「市政報告会」を開催し意見交換を行いました。以下、主要点について報告します。①市の中期財見通し等 ②教育環境の充実 ③子育て、福祉の充実

【「山梨市中期財政見通し」概要】

市は、平成26年から30年までの「中期財政見通し」を策定した。その中で、市税収入の大幅な回復ができない一方で、高齢化に伴う福祉や介護・医療をはじめとする社会保障関係経費等の増大により、政策的経費、投資的経費に充当する一般財源の確保に憂慮すべき財政状況にある。

今後の財政状況・規模

- ・普通交付税は平成25年度対比で平成32年度まで11億円減額となる見込み。国の動向を注視する必要がある。
- ・標準財政規模：平成25年度107億円、財政優遇措置が終わる平成32年度には96億円。
- ・歳入にあった基金を取崩さない予算規模は145億円規模を想定。※平成25年度一般会計予算183億余円

目指す市の事業運営の考え方

魅力あふれる「まちづくり」や市民サービスの質の維持・向上が必要、そのためには自主財源の確保、スクラップ＆ビルドの徹底による施策・事業の再構築・最適化を図り、市債や基金の最大限活用による財政運営を目指す。

特に、公共事業については、事業の効果、緊急性、必要性など様々な観点から事業内容、時期の見直し、一層の重点化や優先化を図り実施していく必要がある。

今後の市政運営に対する「古屋まさお市議」の所見

平成26年を迎え、1月26日告示、2月2日に市長選挙が執行されます。山梨市の市政運営については選挙の結果如何に関わらず、①ますます予算規模が厳しくなる（中期財政見通し）中での財政運営・市民サービスのあり方、②老朽化し限界にきている山梨北中学校給食施設を含む市内の小中学校の給食施設のあり方、③牧丘町、三富、岩手地域における小規模校のあり方、④少子・高齢化が進行する中での市民福祉・サービスへの対応のあり方、⑤山梨市駅南口の開口・周辺地域の整備、⑥東山梨駅周辺の道路整備等、⑦市の特色・自然、地域資源を活かした生産基盤づくり——など、ハード・ソフト事業ともに市政が今後も継続して取り組む課題が山積している。

「総合計画」（平成19年～平成28年）、総仕上げの2年間は、着実な市政・財政運営を推進し「人（市民）・街（地域）・元気！！」なまちづくりに邁進することが重要であると考えている。

【教育環境並びに保健行政（福祉）の充実・予算に反映される】

この4年余、議会で政策提起してきた、①特別支援教育支援員、市単教員等の指導など含む教育課題の充実を図るため教育委員会に「学校指導主事」を単独で配置、②保健行政の充実に向けて「保健師」2名増が図られることが、この12月議会で明らかになった。また、普通教室へのエアコン設置も平成26年度から順次行われる。

観光振興、バス運行にあらたな期待

- ◆10月27日から新宿と甲州市を結ぶ高速バス路線（土、日）運行が開始したことに伴い、バスが経由する山梨市内の国道140号線にバス停を設置するようバス会社に働きかけていく。
- ◆平成26年6月1日～11月23日まで塩山駅から柳平（山梨市牧丘町）間に民間のバス会社が一日2往復の運行を開始する。観光振興に期待したい。

地域行事（道祖神祭り）

1月になると小正月の行事の一つとして「道祖神祭り」（どんどんやき）があります。市内においても道祖神のお小屋の形などがさまざまです。その地域の文化と歴史、文化を知ることが出来ます。



★★★★★「友雅会ニュース」あとがき ★★★★★

迎えた平成26年の干支は60年に一度の「甲午」、年男となります！節目の年となることから、「新しい時代の進展に向けたスタート」と位置づけ新年を迎えました。本号で記載しました通り迎えた平成26年は沢山の市政が抱える課題があります。一つ一つ正面から向き合い、市民の付託に着実に応えていかなければなりません。豊かな自然環境や地域資源等を活かした「まちづくり」、「健康長寿」の推進など、山梨市の特色を活かした市政を目指し取り組む所存です。新年が皆さんにとって喜び多き、豊かな年となりますようお祈り申し上げます。

<http://www.e-masao.net/>